| No.11 | 踏み出し | | |
|---|---|---|---|
| 氏名 | 山根　瑞生 | 映像学部 | 1回生 |

**１．出願時のテーマ･目標を具体的に記述してください。**

映像で抽象的な物を具体的に説明するコンテンツを制作するということを目標にしていました。

**２．上述のテーマ･目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。**

1.スキル
まずは、自分のスキル不足が課題になっていたので、他の案件で似たような映像を制作することでスキルの練習を行いました。
2.内容の選別
まずこのコンセプトに沿って自分が取り上げることができる内容はなにか先輩と話し合い、国際連合の広報が発表しているデータを動画で解説する内容に計画を進めました。
3.デザインの決定
多くの人に見てもらうために、デザインに一貫性をつけてひと目見て自分たちのプロジェクトと理解してもらえるように何度か仲間と話し合いました。

**５．今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。**

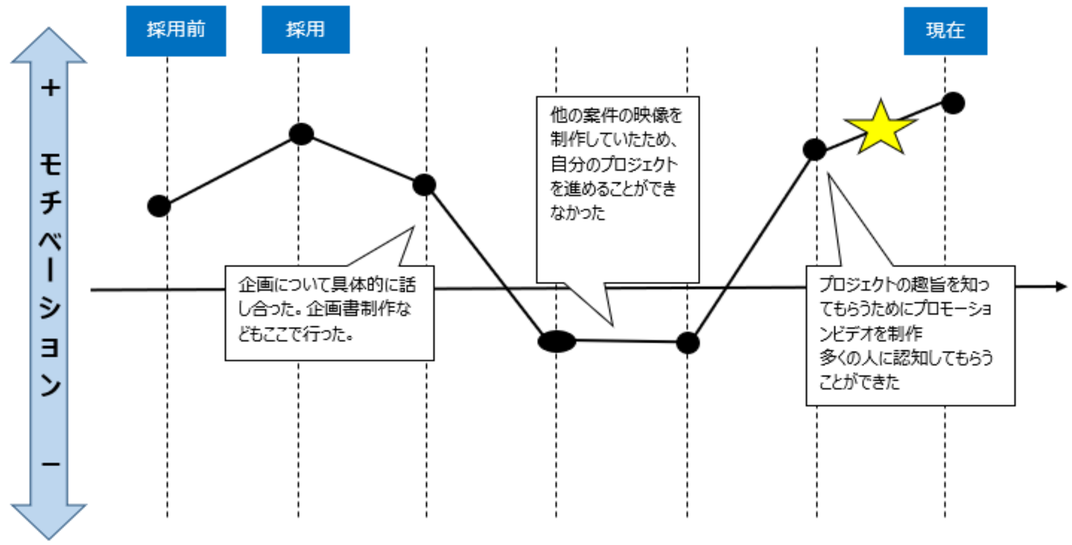
自分が映像を通じてやりたいことが「映像を通してわかりやすく解説する」ということなのでその企画の一歩を踏み出せたように思います。
今度はこの一年で作った基盤を通してあらゆる内容を発信していけたらと考えています。

**６．今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。**

自分の映像コンテンツでお金を動かすことができるか、またどういうコンテンツであれば堅苦しく思われず多くの人に見やすいコンテンツになるだろうかという問いを考える機会になりました。今後も同じ問いを今社会にある映像をインプットし、自分のコンテンツにも活かしていきたいと考えています。

**７．今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会･周囲）への貢献･還元の点で記述してください。**

３．個人の成長の軌跡3-1．取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください.




3-2．グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。

映像制作に必要なAdobeのソフトをある程度使いこなせる状況になるまでに成長することができました。
また、デザインの勉強ができる余裕も生まれて、自分のスキルを磨けた期間だと思います。

3-3．”今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？

ほとんど映像制作に関してはモーショングラフィックスやインフォグラフィックスの授業が映像学部にはないため実演的な授業の関連はありませんでした。
強いて言うならば、映像基礎演習のグループワークのようにチームで分担して作業する方法が学べた面はあります。

4．本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか５段階で評価してください。（該当ナンバーに○）
また、併せて評価の理由も書いてください。 評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】

| | |
|---|---|
| ①　目標の達成度 | 5 |
| ＜理由＞実際に形にすることができ公開することができた為。 | |
| ②　計画の達成度 | 3 |
| ＜理由＞多少制作に遅延がありましたが概ね想定していた順序に作業を進めることができたため。 | |
| ③　取り組みを通じた自己成長 | 4 |
| ＜理由＞デザインやグラフィックなどについて勉強する機会が増え、インプットの視野が広がった。ただ、まだまだ未熟な面もあるためもう少し成長できたようにも思える為。 | |

10．今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。

①　身についた力

デザイン･映像制作技術

②　①で記述した力について具体的に説明してください

･ポスター作成などのデザイン
･モーショングラフィックスの制作

③　なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け･促進させた要因を記載してください

･別の案件で映像制作する機会があった点
･先輩からスキル等を教えてもらったことなど